

安倍首相・オーストラリア アボット首相がウエスト・アンジェラス鉄鉱山を視察

2014年7月9日、安倍晋三首相とオーストラリアのトニー・アボット首相が、新日鐵住金株式会社（本社：東京都千代田区、社長：進藤孝生、以下「当社」）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：飯島彰己、以下「三井物産」）及び Rio Tinto（以下「リオ・ティント社」）がオーストラリアで共同運営しておりますウエスト・アンジェラス鉄鉱山を視察されました。同鉱山は3社が共同出資しております Robe River Iron Associates（ローブ・リバー・アイアン・アソシエイツ、以下「ローブ J/V」）。保有比率：リオ・ティント社 53%、三井物産 33%、当社 14%）によって運営されており、年間生産量 29 百万トンを超える大規模露天掘り鉄鉱山です。

今回の両首相の視察は、安倍首相のオーストラリア訪問の機会に実現したもので、当社からは三村相談役名誉会長及び榮常務執行役員が同行し、リオ・ティント社及び三井物産の首脳と共に両首相をご案内致しました。

両首相には最新の鉄鉱山操業技術をご紹介し、現在実行中の拡張プロジェクト（年間生産能力を 29 百万トンから 35 百万トンへ拡張する工事を実行中）のダイナミックさを実感頂くと共に、長年に渡る日豪企業の連携の成果や豪州鉄鉱石産業における日本企業の貢献について理解を深めて頂きました。

当社は今後ともローブ J/V を通じ、鉄鉱石の安定供給・調達の実現に努めると同時に、日豪企業の連携を深化させて参ります。



右から、Sam Walsh (Rio Tinto 社長)、安倍晋三 (首相)、トニー・アボット (豪州首相)、
Andrew Harding (Rio Tinto Iron Ore 社長)、Colin Barnett (西豪州首相)、
三村明夫 (新日鉄住金 相談役名誉会長)、飯島彰己 (三井物産 社長)

(お問い合わせ先) 新日鉄住金株式会社 総務部広報センター TEL : 03-6867-2146

以 上